

大河ドラマの舞台地 岡崎を満喫



2023年放送の大河ドラマ『どうする家康』の

主人公・徳川家康公生誕の地・岡崎市。

岡崎市経済振興部のみなさんに、

大河ドラマに関連したPRイベントや

家康公ゆかりの地の魅力などについて聞きました。

「どうする家康」活用推進室発足
認知度UPに向けPRを展開

大河ドラマ『どうする家康』の放送開始まで、いよいよ1カ月を切りました。岡崎市経済振興部ではドラマをきっかけに岡崎市の観光を一層盛り上げようと、2022年4月に「どうする家康」活用推進室を設置。今年度からは、職員を増員して「どうする家康」活用推進課発足に加え、大河ドラマ関連のノウハウをもつ旅行会社から人材を迎え、観光誘客に向けたさまざまな活動を展開しています。

観光推進課では、もともと「家康公係」が家康公生誕の地である岡崎市のPR活動をしてきました。それでも「全国的に認知されるまでには至っていません」と話すのは、「どうする家康」活用推進課の高橋祥事。「全国各地に足を運んでいると『岡崎市が家康公ゆかりの地だとは知らなかった』という人が圧倒的に多いです。晩年を過ごした駿府のイメージが強く、岡崎市を連想される方は少ないです」。大河ドラマ『ど

うする家康』であらためて生誕地にスポットライトが当たれば、全国にその存在が知られ、これまで以上に多くの観光客が訪れるのではと期待が高まっています。

インフルエンサーに協力を仰ぎ
若者向けに岡崎市の魅力を発信

2022年の1年間、岡崎城のリニューアル工事、「三河武士のやかた家康館」を改修した「どうする家康 岡崎大河ドラマ館」の整備が進められてきました。2023年1月21日にオープン予定で、ドラマの世界観を堪能できる見ごたえ満点の展示フロアが完成します。

大河ドラマ館の整備だけでなく、岡崎市の観光を盛り上げるための各種イベントやプロモーションなども数多く企画されています。観光推進課家康公係の平井あいみ主事は、「特に若い世代のなかには、家康公の存在自体は知っているけれど、どんな人物なのか詳しく知らない人も多いです。そこで市民の皆さんにも、岡崎市にゆかりがあることを伝え、誇りをもってもらえるようなプロモ民にとっても、あらためて家康公ゆかりの地を訪ね、地元の魅力を発見する絶好の機会となりそうです。

ーション活動に力を入れています」と話します。

最近では、InstagramやTikTokなどでフォローが多いインフルエンサーの協力を受けながら、家康公ゆかりの地や岡崎の魅力あふれるグルメ情報などを発信。さらに11月末から始まったイルミネーションでは、岡崎公園の大手門と、家康公の父・松平広忠公が眠る松應寺を繋いだ地域周遊型のイベントが人気です。「ただキレイで終わるのではなく、家康公ゆかりの地も巡りながら景色を楽しんでもらえたらうれしい」と平井さんは期待しています。

「どうする家康 岡崎大河ドラマ館」開館後は、全国から多くの観光客が訪れることが予想されます。岡崎市内の中小企業者にとっても、『どうする家康』は大きなビジネスチャンスに。地元の中企業などを支援する商工労政課にぎわい創生係・河

合悠主事は「大河ドラマの放送を商機と捉える事業者を募り、イベント出展などのサポートをしています」と話します。「岡崎市地域店舗ファンづくり推進事業

には、すでに500を超えている事業者にご登録いただいています。新たな商品を開発するための支援、ポスターやステッカーなどの配布、バイヤーとの商談会などを開いています。

家康公ゆかりの地を訪ね
地元の魅力再発見の好機に

年間70万人の来場者を見込んでいる「どうする家康 岡崎大河ドラマ館」。生誕の地である岡崎市が描かれるのは物語の序盤と想定されますが、大河ドラマ館の営業は2024年1月までの1年間続きます。「年間を通じてたくさんの方に足を運ん



家康公の生涯を描いた、プロジェクションマッピングとのコラボが圧巻の特別演武

でもらえるように、さまざまな企画で盛り上げていきたいです」と高橋さん。話が進むにつれて展示

を変えたりなど、何度も来館したくなる仕掛けを用意しています。また、平井さんは「せっかくなので岡崎市内にお越しただくのであれば、街に繰り出して市内を巡っていただきたい。そこで、来年春頃からは地域周遊型の謎解きイベントなどを企画中です」とも話します。

岡崎市内の店舗・事業者さんを応援！
「家康印」のインスタはコチラ！



- 岡崎市経済振興部 商工労政課 にぎわい創生係 主事 河合 悠さん
- 岡崎市経済振興部 「どうする家康」活用推進課 活用推進係 主事 高橋 祥さん
- 岡崎市経済振興部 観光推進課家康公係 (「どうする家康」活用推進課業務) 主事 平井あいみさん

ご登録いただいた事業者さんのために「家康印」というロゴを作成しています。このロゴが入った横断幕やステッカーを見かけたら応援していたらどうでしょう。家康印のInstagramで情報発信していますのでぜひフォローしてくださいね！

改めて巡ってみたい 家康公ゆかりの地

大樹寺



徳川家の先祖・松平氏と徳川将軍家の菩提寺。桶狭間から逃れ、自害を回った家康公が再生の決意を固めた立志開運の寺であり、家康公が泰平の世を目指す教えを受けた場所として知られています

法蔵寺



飛鳥時代、行基により二村山出生寺として創建された古刹。幼少期の家康公が読み書きなどの手習いに通ったと伝えられています。境内には、六角堂開運勝利観音など多くの文化財が残されています

伊賀八幡宮



家康公も大きな合戦の際には必ず祈願したと言われており、徳川三代将軍・家光によって改築され、家康公が合祀されました。本殿、隨身門、神橋などが国の重要文化財の指定を受けています

家康ゆかりのグルメも 盛りだくさん！

麦めし・とろろ汁

家康公が健康維持のために主食として愛したのが麦めしでした。籠田公園近くにある「和亭やなぎ」では、独自の製法で作られたとろろ汁と麦ごはんを堪能できます。

八丁味噌

岡崎名物の八丁味噌も家康公の長寿の秘訣だとされています。「カクキュー八丁味噌」「まるや八丁味噌」などの味噌蔵のほか、市内では数多くの「八丁味噌グルメ」を楽しめます。

家康公スイーツ

江戸城に集まった家臣、大名に菓子を振る舞ったとされる家康公。岡崎市内では、和洋菓子店、カフェ、甘味処などで、家康公にちなんだ個性豊かな「家康公スイーツ」を味わえます。

詳しくはコチラ！

